

大阪新卒応援ハローワークからの就活ワンポイント NO.34 『挫折・失敗・苦労した経験（エントリーシート）』編

ES（エントリーシート）でおなじみの質問の一つ。目的は、その苦難や困難の内容や克服に至った経緯や結果から、ストレス耐性や打たれ強さを確かめることにある。その前提を踏まえ、質問を例に書き方や考え方を説明しよう。

Q.いつの頃まで遡って大丈夫か？

一般的に何事においても成長途上にある若者の場合、年齢が上になるほど困難や苦難のレベルも上がることが多い。新卒なら最終となる今の学歴での体験がベストだ。入学後の経験であれば学年は気にしなくていい。

Q.これといった経験が思い浮かばない場合は？

「挫折・失敗」の経験無くても、「苦労」したことが全く無いという人はそういないはず。勉強や留学、部活、アルバイト等のさまざまな状況や場面で、がんばったこと、努力したことを「苦労」したこととして、わかりやすく、飾らずに、素直に伝えればいい。その経験から気づいたこと、学んだことを文字にしよう。

Q.いくつもあって選べないときは？

設問に「最も」や「一つ」等の限定がなければ、無理に絞らず複数書く方法もある。ただし、情報量と文字数が多くなりがちなので、内容や要因等を論理的かつ具体的に、わかりやすく書くことを忘れずに。どうしても一つ選ぶ場合は、自分の都合で選んではいけない。企業の求める人物像（思考・行動の特性）や自分がESの中でアピールする長所や価値観との整合性から最適なテーマを選ぶようにしたい。

わかりにくい場合は、大阪新卒応援ハローワークの窓口で一緒に考えましょう！